

市バス 空港⇄黒川 社会実験

三月一日から一か月間、名古屋市営バスを県営名古屋空港まで延伸する社会実験を実施します。ダイヤ、バス停の位置などを詳しくお伝えします。

背景と目的

名古屋空港の旅客数は増加傾向にあります。また、愛知県による、航空機をテーマとする展示施設「あいち航空ミュージアム」が本年秋季、林先地区の大型商業施設隣接地にオープンする予定です。さらに、国産ジェット旅客機MRJの最終組立工場が立地しているなど、名古屋空港とその周辺は、これまでに以上に多くの人が行き交うこととなります。町は、バスによる地域公共交通網の一層の充実を目指しています。現在、黒川・北部市場間を運行している名古屋市営バスを三月一日(水)から三月三十一日(金)までの一か月間、名古屋空港まで路線延伸し、需要などを調査するための社会実験を行います。期間中において、町内の各バス路線を対象に、利用者アンケート等による調査を行います。

ダイヤ・バス停

路線延伸する名古屋市営バスは、「黒川十一号系統」のうち、黒川⇄北部市場を運行する路線です。社会実験

期間中、新設する停留所は、次の三停留所です。

- ① 青山東栄（東行・西行）
- ② 豊山町社会教育センター（南行・北行）
- ③ 県営名古屋空港

運行回数は、次の表のとおりです。

運行回数 (単位:回)

方面	平日	土曜	日曜日
県営名古屋空港行き	14	10	9
黒川行き	11	10	9
合計	25	20	18

詳しいバス停の位置と各停留所の発時刻は、次ページ以降をご覧ください。

公共交通の様々な利点

本町は、公共交通の利便性向上に努めてきました。小さな町域に、社会実験を行う名古屋市営バスのほか、とよやまタウンバス、名鉄バス、名古屋空港直行バスの各路線が走っています。

公共交通を利用すると、次のような利点があります。

環境に優しい

人を一キロメートル運ぶのに排出する二酸化炭素は、自家用車に比べておよそ三分の一になります。二酸化炭素の排出による地球温暖化が懸念されるなか、公共交通に求められる役割は高まっています。

健康によい

適度な運動は、肥満や生活習慣病の予防に欠かせません。車で移動することが多いと、運動不足になります。公共交通の利用は歩く機会が増えて、健康の増進につながります。

まちに優しい

多くの方が公共交通を利用することにより、渋滞が緩和されます。また、公共交通の利便性が高まると住宅の建設や企業の進出を促し、まちに活気が生まれます。

本格運行に向けて多くのご利用を

今回の社会実験で、ご利用が多いほど、名古屋市営バス路線延伸の本格運行につながる可能性も高くなります。公共交通網の一層の充実は、本町の発展につながります。ぜひ多くの皆様のご利用をお願いします。

▼問合せ 地域振興課地域振興係 ☎ 28・2463